

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

亡夫に似て来ぬ 石田みどり
この道にあの店ありと来たれどもシャッター
おりて春疾風吹く 佐藤 啓子
青立ちてやがて取まる我の胸カブチーノの泡
の感じに 鈴木 茂子
家族五人そぞろ歩きの城山にぼんぼり灯るは
遠き思い出 阿部はぎの
白梅と三つ児の孫に開かれて五十路の坂を今
まさに越す 鈴木久美子
寂しくも励ます孫達いるかぎり元氣で守らん
一人ずまいを 佐藤キワ子
芽吹きたる雑木林の香に浸りせせらぎ聞きつ
つ歩みゆく朝 高子うこん
来しかたの想いは胸に広がって友の手にぎり
積もる話す 荒木喜代子
花嵐一夜はかなき筏組み水面ゆらゆら薄墨絵
巻 齋藤 典子
鶯の初音聞きしと友ら言う彼岸の中目難聴く
やし 山田 演

【評】一首目、ご主人と一緒、テレビにみる相
撲は楽しい。暮れ方の沈みがちなお気持ち
しほし癒やすことであろう。四句目がいい。
二首目、あるはずのものがない一抹の寂し
さを、結句に込める。
三首目、軽快な表現。取東先は、「カブチー
ノの泡」だ。

俳壇

遠藤 秋尾 選

白蓮に日照雨の残る光かな 服部 忠孝
古皿を替えて厨も四月かな 制野 リエ
仁王像目むく一山風ひかる 齋藤 典子
囀りの森より明けし朝かな 岩澤 伍峯

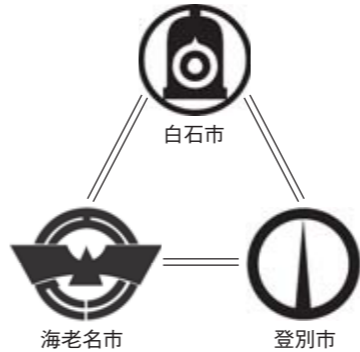
「防災協定」

風間市長の風のことば



▲市民の安全・安心を守るために

軽くてできないかと考え、本市が
中心となり協定を見直し、この
日の3市によるトライアングル
相互協定にたどり着いたわけ
です。
災害はないにこしたことはあ
りません。しかし、宮城県沖地
震の発生率が年々高まっている
という現状を、本市としても見
つめなければなりません。
この協定以外にもいろいろな
分野で協定を結んでいます、
首長や防災担当者の話し合いの



場では必ず出るのは、「公助」が
動く前に、まずは「自助」と隣
近所や地区住民などによる「共
助」が大切であるという話です。
だからこそ各自治会で設立さ
れている「自主防災組織」が重
要となります。
本市は、木造住宅耐震改修工
事助成などさまざまな助成制度
を創設しています。それらを活
用し、いざというときのために
備えてください。
これからも、市民が安心して
暮らせる生活環境確保
のために、関係機関と
一層の連携を深めなが
ら、災害に強い「安全・
安心なまちづくり」を
目指します。
両市とは、今後も公
的な姉妹都市交流だけ
ではなく、市民同士の
信頼関係を深め、さらに人・物・
金が動く、友好・経済トライア
ングルにしていきたいものです。

柳壇

四電 英夫 選

満開の花に抱かるる白石城 岩松 隆志
芽吹きたる雑木林のたのしそう 高子うこん
花の雲さらにもしろき天守閣 跡部祐三郎
花時計一緒に廻る春の音 遠藤 忠臣
霞より山見えてくるケアハウス 跡部 祐子
気まぐれの陽気に脱いで春の風邪 福原 峯子

【評】一句目、日の照りながらの雨も上がり、
白蓮の花にちらりと光る雨雫の神々しさを句
に。「かな」の切れ字が感動を伝える一句と
なった。
三句目、山門を守る仁王像に風光る。いか
めしい仁王さまが何となく優しく見えてく
る。
四句目、小鳥たちの囀りに、森が白々と明
けてくる。今日も良い天気と空を仰ぐ。
十句目、汗ばむ陽気に一枚を脱ぐ。春の風
邪に心せねば。

孫曾孫増えて頑固の顔ゆるむ 草野 清
ひな人形しまえば鯉がおよぎ出す 高橋きよ子
年聞いて無言で切れたあの電話 大庭 良子
勧誘は年金ですすけりがつき 佐藤 啓子
幸という形さまざま春おぼろ 寺崎 悦子
入社式野山も芽吹き新たなり 齋藤 典子
たのしげに雑木の山も芽吹きけり 高子うこん
三寒に首をすくめて四温待つ 阿部みさ子
罪被る秘書の心を民が知る 水戸 光穂
ぼけ防止川柳だけがすくいなり 佐久間とみ子

【評】一句目、いつもは頑固な祖父も、孫曾孫
に囲まれば、ついほおも緩むというものが。
おまけに財布のひもも緩んでしまう？
二句目、季節の移り変わりは実に早い。季
節を先取りするのも商魂のひとつ。クラー
をかけて真夏の毛皮ショーなんてことも。
三句目、勧誘の電話は断るのが難しい。年
を言ったら無言で切れたとは妙案。でもホッ
とした反面、複雑な気持ちもあったのでは？



国際コーナー

International Corner

「白い町のメロディ」

ご存じの方もいると思いますが、白石市にはたくさん
の素晴らしい企画があります。その中でも、音楽とア
ートを中心にしたイベントが毎月、壽丸屋敷で行われてい
ます。イベントの名前は「白い町のメロディ」で、S A P
(Shiroishi Artist Project)の皆さんが主催しています。
このイベントでは、白石市や近隣市町のバンドなど、「ス
テージに立ってみたい」「自分を表現したい」という方
に最高のチャンスを与えています。

実は、僕も2回参加したことがあります。2007年、白
石に来たばかりの時に友達の紹介でバンドを組み、ステ
ージで歌いました。それから2年以上たって僕の「やり
たいことのチェックリスト」を見直してみたら、「もう
一度白石でライブをしたい！」と書いてありました。「や
るなら今しかない！」と思って、S A Pに久しぶりに連
絡しました。4月10日のライブでは、友達と作ったオリ
ジナル曲(英語歌詞)6曲すべてを披露することができ
ました。僕たちの演奏の後はアフリカのドラム演奏や、
日本伝統の琴のきれいな演奏がありました。

いろいろなジャンルを楽しめる音楽イベントが、市民

の皆さんやミュージシャンを目指している方のために、
無料で毎月第2土曜日にすまいるひろばで開催されてい
ます！ ライブミュージックを聴きたい！ パフォーマ
ンスをしたい！ 自分のアートや写真を展示してもらい
たい！ と思っている方は、ぜひS A Pに連絡してくだ
さい。

●S A Pのブログ <http://sapmelody.exblog.jp/>



▲友達がアコースティックギターで僕がボーカルを担当しました

まちの話題

～あの日、あの時～

みんなの笑い声と笑顔がいっぱい！ 第34回こどもまつり

5月9日、家族のふれあいの場づくりと、子ども同士
で遊ぶ楽しさを伝える「第34回こどもまつり」が中央公
民館で開催されました。

このまつりは、母親クラブや子ども会育成会連合会、
民生児童委員、児童館やジュニアリーダーなど多くの団
体などでつくる実行委員会が主催しています。

この日は、少し肌寒い日となりましたが、約570人が
会場を訪れ、寒さも吹き飛ばすほどの熱気に包まれていま
した。屋外には、シャボン玉やペットボトルボーリング
コーナー、また屋内には、押し花しおり作り、人形劇コ
ーナーなどが設けられ、各コーナーともたくさんの人で
あふれ、そして、大きな笑い声とたくさんの笑顔であふ
れていました。



▲シャボン玉コーナー



▼押し花作りコーナー